５つの基本方針と１２の基本目標

課題解決のための基本方針

1　広域交流の拡大　～広くつながる道づくり～
（１）国土軸を形成し、県土の骨格となる広域ネットワークの構築
（２）東西南北に開き、交流を拡大するネットワークの強化

2　産業・観光の活性化　～ふくいをみがく道づくり～
（１）産業経済活動の支援
（２）周遊・滞在型観光の促進

3　幸福度日本一の生活基盤　～ふくいの暮らしを支える道づくり～
（１）快適な生活をサポート
（２）誰もが安全・安心
（３）公共交通機関との連携強化

4　県土強靭化と持続性　～強くてしなやかな道づくり～
（１）大雨・大雪等の災害に備えた機能強化
（２）道路施設の予防保全・長寿命化
（３）ICT を活用した道路管理の高度化・効率化

5　魅力ある道路空間の創出　～居心地のよい道づくり～
（１）地域のニーズに応じた柔軟な道路空間の創出
（２）豊かな景観づくりと環境との共生

＜ＳＤＧｓへの取組＞
　２０１５年の国連サミットにおいて採択されたＳＤＧｓは、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現を目指し、国際社会が協調して取り組む世界共通の目標です。
　道路の将来ビジョンにおいても、SDGsの理念に沿いながら、未来につながる道づくりを進めます。

1　広域交流の拡大　～広くつながる道づくり～

福井県は、日本海側の中央に位置し、太平洋側にも近接している地理的優位性があります。アジア大陸に面し日本海側の玄関口となっている敦賀港・福井港を物流拠点とし、大都市圏とのネットワークを強化して、物流・交流の拡大に繋げます。

（１）国土軸を形成し、県土の骨格となる広域ネットワークの構築

日本海国土軸を形成し三大都市圏をはじめとする広域圏を結ぶ、高速性、信頼性、安定性の面で優れている高規格道路の整備を推進します。

ミッシングリンクとなっている中部縦貫自動車道の大野ＩＣ～油坂出入口(仮称)間の早期開通、暫定２車線となっている舞鶴若狭自動車道等の全線４車線化の整備を推進します。

また、高規格道路と一体となって広域ネットワークを形成する道路を整備し、敦賀港・福井港等の物流拠点へのアクセスを向上させます。

【広域道路ネットワーク】

中部縦貫自動車道の整備

舞鶴若狭自動車道の４車線化

（２）東西南北に開き、交流を拡大するネットワークの強化

県土を東西南北に開き県境をまたぐ道路の整備を促進し、隣接府県との幅広い交流・連携の活性化を図ります。

広域交通を担う国道８号、国道２７号、国道１６１号の直轄国道をはじめ、広域幹線道路を補完・代替する国道３０３号、国道３６５号、国道４１７号など物流・人流の活性化に寄与する幹線道路の整備を進めます。

【主要幹線道路の整備】

No.	路線名
①	中部縦貫自動車道　大野油坂道路
②	舞鶴若狭自動車道（４車線化）
③	福井港丸岡インター連絡道路
④	国道８号（牛ノ谷道路・金津道路） 加賀市熊坂町～あわら市笹岡
⑤	国道８号（福井バイパス　４車線化） あわら市笹岡～坂井市丸岡町玄女
⑥	国道８号（敦賀防災） 敦賀市挙野～敦賀市田結
⑦	国道８号（敦賀バイパス　４車線化） 敦賀市田結～敦賀市河原町
⑧	国道４１６号（白方～布施田バイパス）
⑨	国道４１６号（福井北ＩＣアクセス道路）
⑩	国道１５８号（境寺～計石バイパス）
⑪	国道３６５号（梅浦バイパス）
⑫	国道３６５号（４車線化：上太田町～岡本町）
⑬	国道３０５号（白浜拡幅）
⑭	国道４７６号（白粟バイパス）
⑮	国道４１７号（板垣坂バイパス）
⑯	国道４１７号（冠山峠道路）　権限代行
⑰	国道３６５号（栃ノ木峠道路）
⑱	国道１６２号（西津橋・大手橋・城内橋）
⑲	国道１６２号（深谷～相生）

※現在事業中の主な路線（国道以上）のみ記載

⑰　国道３６５号　（栃ノ木峠道路）

2　産業・観光の活性化　～ふくいをみがく道づくり～

北陸新幹線の福井・敦賀開業や大阪までの延伸、中部縦貫自動車道大野油坂道路の全線開通など、大交流化を推し進めるチャンスを迎え、市場開拓・販路拡大など産業経済の活性化や県内外からの観光誘客など観光振興につながる道づくりを推進します。

（１）産業経済活動の支援

福井港やテクノポート福井等の産業拠点と北陸自動車道をつなぐ福井港丸岡インター連絡道路をはじめ、産業経済活動の支援や企業立地の促進、立地企業の規模拡大につながる道路の整備を進めます。

市街地の幹線道路の渋滞を緩和するため、右折レーンの設置や４車線化によるボトルネック※7の解消など交通の円滑化を図ります。

物流を担う長距離トラック等が、快適に休憩できるよう、道の駅やＳＡ・ＰＡ等において、駐車スペースを確保するなど、施設の充実やサービスの向上を図ります。

【福井港丸岡インター連絡道路の整備】

※7　道路の幅が急に細くなったり、信号や踏切などにより車の流れが阻害される箇所

【渋滞箇所の対策事業（一般県道 福井森田丸岡線の整備）】

【福井市街地の渋滞状況】

羽崎（北進方向）

新保（南進方向）

高木（南進方向）

福井大橋北（南進方向）

（２）周遊・滞在型観光の促進

観光地等を結ぶ道路や広域周遊観光ルートを形成する道路など観光の活性化を促進する道路を整備します。観光地への道路標識や観光案内標識を設置し、はじめて訪れた人にもわかりやすい観光アクセスを確保します。

観光拠点となる道の駅については、多言語対応の観光案内やキャッシュレスの導入など、インバウンド対応とともに、さらなるサービス向上を図ります。

サイクリングコースのネットワーク化を進めるとともに、観光地の魅力を高めるため地域全体で景観創造や美観向上の取組を進めます。

【広域周遊観光ルート道路整備】

冠山峠道路の整備状況（岐阜県側）

【観光地へのわかりやすい案内標識】

主要観光地を案内標識に表示

【地域全体の景観創造・美観向上】

熊川宿（若狭町熊川）

【道の駅、ＳＡ・ＰＡ等の施設の充実化やサービス向上】

道の駅「恐竜渓谷かつやま」

道の駅「越前おおの　荒島の郷」

【サイクリングコースのネットワーク化】

ネットワーク化されたサイクリングコース
約２８２ｋｍ整備完了（Ｈ３０末）

【凡例】
自転車専用道
サイクリングコース
道の駅
主要観光地

ルート上の分岐点などに路面表示や標識を設置

三方五湖サイクリングコース

北潟湖畔自転車道（ハミングロード）

3　幸福度日本一の生活基盤　～ふくいの暮らしを支える道づくり～

人口減少・高齢化が進む中、地域でいつまでも安心して暮らすことができるよう、基盤となる道路の整備を推進します。通勤・通学、買い物等の日常生活が快適となる道路ネットワークの充実を図るとともに、生活空間における道路の安全、安心を確保し、住みやすい環境基盤を整備します。また、自動車に頼らず誰もが容易に移動できるよう、鉄道やバスなどの公共交通機関との連携を強化し、交通の基盤づくりを推進します。

（１）快適な生活をサポート

過疎化や高齢化の進展に対応するため、通勤・通学、買い物など日常生活に利用され、地域間の交流・連携を強化する幹線道路を整備し、道路ネットワークの充実を図るとともに、ゆとりを持って運転できる走行空間づくりを進めます。

市街地内における短距離の移動に自転車を利用できるよう、自転車走行空間のネットワーク化を進めます。

冬期における安全で円滑な交通を確保するため、除雪体制を充実するとともに、家屋が密集している区間や急な坂道等の必要な箇所において、消雪施設を整備し、雪に強い道づくりを進めます。

【自転車の通行空間の整備】

国道４７６号（大野市日吉町）

【消雪設備の整備】

主要地方道　福井大森河野線（越前市白山）

【地域間を結ぶ道路の整備】

主要地方道　坂本高浜線
（おおい町石山）

国道１５８号　境寺～計石バイパス（福井市）

（２）誰もが安全・安心

通学路や交通量が多い危険な箇所を中心に歩道整備やバリアフリー化を進めるとともに、身近な生活道路において、歩行空間を明示するためのカラー舗装や防護柵の設置など、人にやさしく、安全・安心に暮らせる環境・基盤づくりを進めます。

また、高齢者や障がい者など、誰もが使いやすいデザインの道路空間の整備や、無電柱化等による歩行者・自転車通行スペースの拡充など、快適な空間を確保します。

【踏切道の拡幅による歩道整備】

整備前

整備後

一般県道 西尾鯖江停車場線（鯖江市舟津町１丁目）

【防護柵設置による交通安全対策】

整備前

整備後

一般県道 敦賀美浜線（敦賀市金山）

【カラー舗装による歩行空間の明示】

国道 162 号（小浜市駅前町）

【無電柱化による通行空間の確保】

フェニックス通り（福井市春山１丁目）

（３）公共交通機関との連携強化

鉄道駅や道の駅などを拠点とした公共交通ネットワークを強化し、自動車に頼らずに目的地まで移動できるよう、公共交通機関の利便性の向上を図ります。

新幹線駅や地域の核となる駅から観光地や地域拠点等への利便性の高いアクセスを確保するとともに、鉄道駅の近くに整備したパークアンドライド駐車場を活かし、鉄道の利用促進を図ります。

【駅前広場の整備】

南越駅（仮称）周辺（令和２年９月の整備状況）

【パークアンドライド駐車場の整備】

えちぜん鉄道　永平寺口駐車場

福井鉄道　水落駅

4　県土強靭化と持続性　～強くてしなやかな道づくり～

激甚化・頻発化する自然災害に備え、平常時・災害時を問わず人・モノ・情報の流れを確保する道路ネットワークの形成や機能向上を推進するとともに、防災設備・防災機能の強化を図る「道の駅」の整備を進めます。また、原子力発電所が立地する福井県として、日常的な利用に資するだけでなく、有事の際には広域避難ルートにもなる道路の整備、防災対策など機能強化を進めていきます。

雪に強い道づくりとして、４車線化や道路拡幅、雪崩対策などハード面の整備を進めるとともに、短期集中的な大雪に対応できるよう除雪機械の広域応援など除雪体制の強化、関係機関との緊密な情報共有、道路利用者との SNS や地域一斉メール等多様な手段での情報共有などソフト面の対応強化を図ります。

道路施設の老朽化対策については、長寿命化修繕計画に基づき計画的に実施するとともに、事後保全から予防保全に転換することにより、持続可能な道づくりを推進します。

また、急速に進展している ICT を活用し、道路の異状の早期発見など道路管理の高度化・効率化を図ります。

＜国の取組み＞　国土強靭化にむけ、2013 年 12 月に「国土強靭化基本法」が成立

国土強靭化とは、大規模な自然災害などに備えるため、事前防災や減災、迅速な復旧・復興につながる施策を計画的に実施して、強くてしなやかな国づくりや地域づくりを進める取組のこと。

〔出典：内閣官房国土強靭化推進室〕

（１）大雨・大雪等の災害に備えた機能強化

近年頻発する大規模災害時においても、人やモノの輸送を安定的に確保するため高規格道路のミッシングリンクの解消および４車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による機能強化はもとより、重要物流道路や緊急輸送道路などの防災・減災対策を進めるとともに、複数ルートが確保できる県内道路ネットワークの形成を推進します。

また、日常的には人の交流や物流を担い、原子力災害時においては広域避難ルートにもなる道路の整備、防災対策など機能強化を図ります。

冬期においては、交通量の多い主要な幹線道路、インターチェンジや主要な病院へのアクセス道路など最重点除雪路線を中心に、効率的な車道除雪を実施し、道路交通を確保します。さらに、短期集中的な大雪時には、除雪機械の広域的な応援などにより除雪体制を強化するとともに、県内への車両の流入を抑制するため行動自粛や広域迂回等の呼びかけなどを行い、大規模な車両滞留の発生を抑制します。

通行規制や雨量情報、冬期における積雪情報や路面状況など道路に関する情報を、行政や警察、地域団体などの関係機関と共有し、一元化して利用者に発信します。

【重要物流道路や緊急輸送道路における防災対策】

国道 417 号冠山峠付近の雪崩対策
（池田町河内）

国道 158 号の法面対策
（大野市下山）

【「みち情報ネットふくい」による道路情報の発信】

〔出典：福井県 HP〕

（２）道路施設の予防保全・長寿命化

計画的な定期点検により橋梁やトンネル等の健全度を把握し、損傷度合いに応じて早期補修を行います。

より安全なインフラ設備の維持を目指し、事後保全※8 から予防保全への転換を図り、長寿命化を推進します。

【橋梁やトンネル等の定期点検の実施】

国道 305 号　新保橋（坂井市三国町新保）

国道 158 号　小和清水奈良瀬トンネル
（福井市小和清水町）

【老朽化する道路施設の予防保全対策（橋梁の塗装塗り替え）】

補修前

補修後

国道 305 号 新保橋（坂井市三国町新保）

※8　施設の機能や性能に不具合が生じてから修繕等の対策を講じること

（３）ICT を活用した道路管理の高度化・効率化

ＡＩ監視等の新技術を導入し、道路施設管理の高度化・効率化を推進します。冬期除雪時には、ＧＰＳ搭載の除雪車管理システムにより、効率的な除雪を行い住民の要望に早期に対応します。

また、データ等を活用した渋滞対策を行うなど、 ICT を活用し長期的かつ効率的に道路施設の機能確保を推進します。

【ＡＩ技術を活用した道路維持の効率化】

ＡＩによる路面状態判別のイメージ

福井県と日本気象協会、ベンチャー企業は産官で連携し、福井県設置のカメラ画像を使用して凍結や積雪など路面状態をリアルタイムに判別していく実証実験を２０２０年１２月から行っています。ＡＩは画像を▽乾燥▽湿潤▽凍結▽積雪などと判別し、さらに、現場で県土木事務所職員が確かめた状況をＡＩに学習させ精度を高めていきます。

将来的に、道路の凍結防止剤の散布や除雪作業の素早い判断、効率化が期待されています。

【福井県道路管理情報システム】

トップページ　通行規制や除雪車位置、カメラなど全ての現況を地図上で確認

カメラ画像　道路377台、河川100台

福井県警、国交省、NEXCOとのﾃﾞｰﾀ連携により道路・河川カメラを集約

除雪車輌位置(GPS)

除雪車輌に設置されたGPSにより現在位置と走行軌跡を表示

通行規制情報　全２２７路線

福井県警、国交省、NEXCOとのﾃﾞｰﾀ連携により県内全ての規制情報を網羅

現場写真

ｽﾏｰﾄﾌｫﾝｻｲﾄから登録された現場写真

スマートフォンサイト

災害現場やパトロールで、内部システムと同等な閲覧が可能

メール通報

トンネル内で事故等が発生し押しボタンを押した場合や、非常警報設備が故障した場合に管理者へメール通報

積雪・気温グラフ

国交省、気象庁の気象情報を集約

福井県道路管理情報システムは、福井県および関係機関（国交省、県警、NEXCO 等）の道路状況や除雪状況を集約することで、刻々と変化する雪害状況をリアルタイムに把握し、道路管理者の迅速かつ効率的な除雪作業を支援するとともに、公開サイト「みち情報ネットふくい」によって、県民に向けた道路状況を発信します。

5　魅力ある道路空間の創出　～居心地のよい道づくり～

道路に求められるニーズの多様化に対応した魅力的な空間を地域住民とともに創り出し、道路空間を身近に感じるよう工夫します。

クルマ中心から人中心へ、安全・快適な歩行空間の確保や人が集まる道づくりを推進します。

（１）地域のニーズに応じた柔軟な道路空間の創出

既存道路空間の再構築等による歩行者・自転車空間の拡大により、心地よさが感じられ、賑わいのある美しい道路空間や緑豊かな、ゆとりある空間（緑道）を創出します。

ワークショップを開催し、計画段階から地域住民と一緒に取り組むなど、地域のニーズに応じた柔軟な道づくりを進めます。

イベントやオープンカフェ等の多目的に利用できるよう、利用者目線での魅力ある道路空間の利活用を推進します。

【地域ニーズに応じた歩行者・自転車空間の拡幅】

都市計画道路　武生中央線
（越前市府中１丁目）

国道８号
（敦賀市元町交差点～白銀交差点）

【道路の多様な活用状況】

福井マラソン（フェニックス通り）

七間朝市（大野市元町）

【地域住民協働による道づくりの事例】

県道 磯部島西瓜屋線 みちづくり協議会(ワークショップ)

キャッチフレーズ

語らいのある学舎のまち
♪楽しく歩きたくなるみちづくり♪
歩行者と自転車と車が共存し、
安全・安心・快適を実現

基本方針

1. 歩行者が安全に安心して通れる配慮をすること
2. マナーや思いやりのあふれる道にすること
3. 明るく快適で気持ちのよい空間にすること
4. 地域のコミュニュケーションの場となること
5. 地域の特色が感じられる空間にすること

意見交換

社会実験

完成断面

～これまでのワークショップの流れ～

第1回 「ワークショップに集まろう」
平成18年9月30日
●ワークショップの目的の確認
●現地を歩いて、現道の問題点について、みんなで話し合い、まとめます。

第2回 「みちづくりを考えよう」
平成18年10月22日
●現道の問題点の解決方法について、みんなで話合い、「どんなみちにするのか」

第3回 「みちづくりをしてみよう」
平成18年11月11日
●みんなで話し合い、アイデアを出し合って、

第4回 「みちづくりをまとめようⅠ」
平成18年12月10日
●これまでの意見やアイデアをまとめて、ワークショップが提案する計画案をひとつにまとめます。

第5回 「みちづくりをまとめようⅡ」
平成19年2月10日
●前回に引き続き、これまでの意見やアイデアをまとめて、ワークショップが

社会実験
平成19年2月25日～3月8日

第6回 「計画をもっと良くしよう」
平成19年4月15日
●ワークショップの成果をまとめ、計画案を確認します。

第7回 「みちの個別パートを考えよう」
平成19年6月24日
●舗装、照明、みちの名前を考えます。

道路工事
平成20年11月～3月

第8回 「出来上がったみちを体験しよう」
平成20年4月19日
●現地を歩いて、完成した道を確認します。

一般県道 磯部島西瓜屋線(坂井市丸岡町寅国)

坂井市立丸岡中学校前の通学路は、幹線道路で交通量が多く周囲に商店街もあることから、生活道路や抜け道など様々に利用されています。道路添いの歩道は幅 1.2mと狭いが現在の道路幅を拡げることは難しく、現況道路の幅員の中で歩道幅を見直す計画を周辺住民の方々と共に検討するため、ワークショップを立上げ、社会実験を行いました。その結果と集まったいろいろな意見を反映して道路空間を再分配し、より安全で身近な道路計画となりました。

（２）豊かな景観づくりと環境との共生

福井らしい歴史的なまちなみや豊かな自然景観と調和を図り、周辺の風景に合わせたデザイン性のある道路空間を創出します。

心地よい通行空間を永く持続できるよう、地域住民と共に花植えや清掃などの取組を推進します。

また、シェアサイクルや次世代環境対応車等への転換を図り、地球温暖化等の気候変動に対応した、環境と共生できる道づくりを進めます。

【住民参加の道づくり】

主要地方道 福井停車場線
（福井市大手３丁目）

国道 476 号
（大野市日吉町）

【歴史景観と合わせた道路空間整備】

無電柱化整備（一乗谷朝倉氏遺跡周辺）

【自動運転の試験運行】

永平寺町の自動走行ルート

「ＺＥＮ drive」